

令和7年8月29日

玉名中学校第3学年保護者様

玉名市立玉名中学校
校長 森川 孝巳

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について

初秋の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の全国学力・学習状況調査は3年生を対象に、4月17日に国語、数学、理科の3教科で実施されました。先日その結果が届きましたので、本校の調査結果の概要と今後の対策等についてお知らせいたします。

なお、全国学力・学習状況調査は、以下の目的により行われ、学力の一面をはかるものであり、この結果が学力の全てを表すものではないことをご理解願います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 学力調査の結果（概要）

国語：熊本県の平均正答率とは同程度だが、全国平均はわずかに下回っている。

数学：熊本県の平均正答率はわずかに下回り、全国平均は下回っている。

理科：熊本県の平均正答率とは同程度だが、全国平均はわずかに下回っている。

3 学習状況調査の結果（概要）

本調査は、アンケート形式で、学習の様子や生活面等について質問したものです。全国平均と比べて、特徴的な傾向がつかめる項目のみを紹介します。

<望ましい傾向>

*全国平均を大きく上回った項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

<改善したい傾向>

*全国平均を下回った項目

- ▲学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（2時間以上学習している生徒の割合が少ない。）
- ▲あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。
- ▲1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

4 全国学力・学習状況調査結果を受けての今後の取組について

学力調査の結果を見ると、国語、理科は熊本県の平均正答率と同程度でしたが、全国平均は下回りました。数学は、熊本県、全国の平均正答率を下回りました。国語については、すべての項目で無回答率は全国平均を上回っていましたが、選択式の問題形式に課題があることが分かりました。数学については、グラフの読み取り問題等は正答率が高く、問題形式が短答式になると正答率が低くなる傾向が見られました。理科については、授業や実験に意欲的に取り組み、学習した知識を生活に活用しようとする生徒が多いことが分かりました。

本校では、本調査結果を詳しく分析し、課題や改善点を把握し指導法等を見直しながら、各教科で授業改善に努めてまいります。さらに、10月に行われる熊本県共通テストに向けて、学校総体で3年生の学力充実に取り組み、一人一人の希望する進路の実現に向けて努力していきたいと考えます。

また、学習状況調査の結果からは、自己肯定感が高く、学校生活に前向きに取り組むことができている生徒が多いことが分かりました。しかし、家庭学習の時間が短いことや、ICT機器の活用、自分の考えを分かりやすく伝えるための工夫等の課題も見えてきました。

今後は、各ご家庭の協力を得ながら、受験生としての自覚を持たせ、家庭学習の充実を図るとともに、生徒たちが主体的に学ぶ授業や安心して学び合える学習環境作りに取り組んでまいります。

これからも、保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。